

1 全国学力・学習状況調査（４月１７日実施）の概要

- (1) 「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査」です。
調査対象教科は、国語・数学で、それぞれＡ問題とＢ問題で構成されています。
- (2) 教科に関する調査の内容について

【Ａ問題】：主として「知識」に関する問題	【Ｂ問題】：主として「活用」に関する問題
◇身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容。	◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力。
◇実生活に不可欠で、常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能 等。	◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 等。

2 教科（国語・数学・理科）に関する調査結果の概要

国 語 A	本校の３年生が得意としている力	△書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する力。 △段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする力。 △歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む力。
	本校の３年生が苦手としている力	▼伝えたい事実や事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する力。 ▼目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く力。 ▼行書の基礎的な書き方を理解して書く力。
国 語 B	本校の３年生が得意としている力	△文章の構成や展開について自分の考えをもつ力。 △話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する力。 △場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する力。
	本校の３年生が苦手としている力	▼目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く力。 ▼相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く力。
数 学 A	本校の３年生が得意としている力	△具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる力。 △着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくる力。 △空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であること)を理解する力。
	本校の３年生が苦手としている力	▼指数を含む正の数と負の数の計算をする力。 ▼四角錐の体積はそれと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解する力。
数 学 B	本校の３年生が得意としている力	△問題場面における考察の対象を明確に捉える力。 △グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈する力。 △付加された条件の中で、新たな事柄を見だし、説明する力。
	本校の３年生が苦手としている力	▼与えられた計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明する力。 ▼与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する力。
理 科	本校の３年生が得意としている力	△化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる力。 △神経系の働きについて説明する力。 △オームの法則を使って、抵抗の値を求める力。
	本校の３年生が苦手としている力	▼風向きの観測方向や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる力。 ▼植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる力。

3 学習状況（生活習慣・学習習慣・学習内容）の調査結果の概要

全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が高い質問内容。 （数値は全国平均との差）	①先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。(＋5.1 P) ②いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。(＋9.4 P) ③人の役に立つ人間になりたいと思う。(＋2.6 P) ④朝食を毎日食べている。(＋3.5 P) ⑤毎日同じくらいの時刻におきている。(＋3.5 P) ⑥家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする。(＋9.8) ⑦1,2年生の時に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。(＋34.9 P) ⑧生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。(＋7.2 P)
全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が低い質問内容。 （数値は全国平均との差）	①家で、自分で計画を立てて勉強している。(－7.7 P) ②家で、学校の宿題をしている。(－5.1 P) ③家で、学校の授業の予習・復習をしている。(－9.3 P) ④家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。(－6.4 P) ⑤学校の授業時間以外に、普段1日当たり全く勉強していない。(＋6.0 P) ⑥学校の授業時間以外に、普段1日当たり全く読書をしていない。(＋8.7 P) ⑦今住んでいる地域の行事に参加している。(－7.7 P) ⑧地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。(－20.1 P)

4 指導の改善策(結果を分析し、9月の職員会議で重点策の共通理解を図り取り組んでいます)

<主体的・対話的で深い学びからの授業改善 ⑧>

- ・次期学習指導要領（中学校は、平成33年度から完全実施）改定の主要テーマの1つである「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向け、今年度から1単位時間の学習の流れ「課題の提示（見通す）⇒個人思考（振り返る）⇒集団思考（交流する）⇒まとめる」を全教科の学習を通して実践しています。
- ・数学Aの $2 \times (-5^2)$ の正答率が全国平均と比較して低い傾向がありました。ほっかいどうチャレンジテスト単元別問題等を活用しながら、希望者を対象に放課後学習会を行っています。また、1,2年生の数学と英語の授業で ティームティーチングを取り入れており、今後も一層充実した取組になるよう進めていきます。

<社会に関かれた教育課程 ⑦・⑦・⑧>

- ・1,2年生での地域交流学習・職場体験学習等において、地域社会と本校生徒に身に付けさせたい資質・能力を共有しながら学習を進めています。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら一層充実した取組になるよう教育課程を編成していきます。

<家庭学習の習慣づくりに向けて ⑥・①・②・③・④・⑤・⑥>

- ・学習は毎日の積み重ねや家庭での予習・復習が大切です。家庭学習の意識を高めるために、学期末テスト前には家庭学習取組調査を実施し、本日研究部通信で家庭学習の実態についてお伝えしているところです。生徒が一人ひとりが目的意識をもって学習に取り組んだ結果、各学年とも概ねよい結果が得られました。今一度、ご家庭で、普段の生活や学習について話し合ったり、将来の夢や希望についてお子様の考えを聞いたりしていただきたいと思います。また、ゲームやメディア(SNS・インターネット動画等)の接触時間等についても、各家庭での使用ルールをご確認していただければ幸いです。